

社会科・地歴公民科の教員採用試験の検討

筑波大学附属駒場中・高等学校 社会科

小林 汎・大野 新・小澤富士男

篠塚 明彦・丸浜 昭・宮崎 章

吉田 俊弘

社会科・地歴公民科の教員採用試験の検討

筑波大学附属駒場中・高等学校 社会科

小林 汎・大野 新・小澤富士男
篠塚 明彦・丸浜 昭・宮崎 章
吉田 俊弘

要約

今年度は、昨年度で2年目を終えた研究テーマ「新教育課程における社会科・地歴公民科中高一貫カリキュラムの研究」を1年間中断し、「社会科・地歴公民科の教員採用試験の検討」に取り組んだ。これは、学校教育局が主催する時事通信社と連携した取り組みに関わっての研究である。具体的には、北海道から沖縄にいたる全国の中学校社会科、高校地歴・公民科の教員採用試験問題を、「設問内容の分類」・「出題レベルは適切か」・「解答形式」・「知識の偏重度はどうか」・「採用試験としての必要度はどうか」という五つの視点で分析し、検討を加えた。そして、それらをもとに、①教員採用試験問題の現状にどのような課題があるか、②どのような教員採用試験が求められるかなどの検討を試みた。

キーワード： 教員採用 採用試験問題 悪問と良問 教員の資質

1 はじめに

この研究は、筑波大学附属学校教育局（谷川彰英 教育長）が、法人化後の附属学校を巡る厳しい状況の中で、11附属を抱える筑波大学の特徴を生かした「産学連携」の取り組みを、時事通信出版局と締結したことに端を発している。

谷川教育長は「産学連携に関する基本方針」の中で、時事通信出版局と連携を進めてきた理由を2つの側面から述べている。第1は社会貢献の側面であり、第2は外部資金獲得という目的を上げている。

前者は、「今日、教員の資質向上が焦眉の課題として注目をあつめている。……教員養成問題は国家的な規模の事業なのである。ところが、全国で行われている教員採用試験がどのような問題で行われているかについては、これまでの教育学研究では全く顧みられることはなかった。いわば、教育学研究の死角であったと言える」とし、今回の研究の意義を述べている。後者は、「額はともあれ、まず外部資金を獲得する道を開拓しようと考えた……教育界でこのような道に先鞭をつけたのは筑波大学が最初であり、……将来、この産学連携の延長上でさらに外部資金を獲得する道が開けてくる」可能性を考えている。

全国47都道府県と3政令指定都市（名古屋・京都・神戸）の教員採用試験問題は教職教養、一般教養、専門教養の3分野からなり、その量は膨大なものとなる。

附属学校の教員は教職教養に関する試験問題を、学校種・教科等を考慮して手分けして分析した。（注1）中学社会科、高校地歴科・公民科（以下「社会科」と略す）の問題分析は、附属中学校の社会科教員4名、附属高校地歴科教員3名、それに本校社会科（地歴・公民）の教員7名が担当した。（注2）

1.1 研究経過

2005年2月14日に、附属学校教育局で時事通信出版局の担当者同席のもと、発足の会合（「教員採用試験の分析・評価説明会」）がもたれた。その後の経緯の詳細は省くが、社会科についての会合は、本校を会場に、以下の日時に、3校の関係者が集まって研究を進めた。

・第1回目（3月8日）：①2/14の説明会の報告、②「分析シート」の記入の仕方について、③採用試験の概要（実態把握）、④今後の日程など。

・第2回目（4月26日）：①試みに「分析シート」記入結果の報告、②「分析シート」記入方法の改善及び基準の

Investigation of Teachers' employment examination in the field of Social Studies

統一の為の検討、③分担の再確認、④今後の日程など。
・第3回目(7月15日):①分析結果の報告、②教員採用試験のあり方について意見交換、③日本教育学会関東地区研究会での報告の件、④公開セミナーの件など。各担当者から提出された「分析シート」は、宮崎が全体の統一を図りながら整理してまとめた。

なお、7月16日(土)に筑波大学東京キャンパス・大塚で行われた「日本教育学会関東地区研究会」では、小林が代表して分析結果の中間報告を行った。

11月26日(土)には、日本教育会館(東京・神保町)において、時事通信社/時事通信出版局主催 筑波大学附属学校教育局産学連携セミナー「試験問題から見る教員採用の現状と課題～教員採用試験における“良問・悪問”とは何か～」が開催された。第1部では、「教員採用試験問題の分析評価」を11名の附属学校の代表者と田中統治教授、桑原隆教授が報告、第2部では、パネルディスカッション「教員の資質能力をどう見極めるか」が行われ、全国から教育委員会関係者、大学の教職教育担当者など120名程が参加した。このセミナーで、ここ半年間の附属学校教育局上げての取り組みの研究成果の報告、今後の教員採用試験のあり方について問題提起を行った。(注3)

以下の報告は、上記セミナー用に、14名の協力で完成した「分析シート」を基にして、小林の責任でまとめた報告書に、本校社会科のメンバーが、分担して分析した部分を中心に加筆したものである。

2 分析評価にあたって

2.1 前提

①「専門教養」試験において、どんな学力・能力を見るのか?②教科の基礎教養としてどの程度をミニマムとしてみるか?③都道府県によって採用の仕方が違うので統一的に捉えられるか?等の課題を抱えつつ、次の点を分析にあたってのおおよその目処とした。

2.2 分析評価の基準・視点

- ①専門分野(高校の科目に相当する)については、中学校教員採用試験の場合でも、高等学校で教えることができる知識・学力を有している。高等学校教員採用試験の場合は、教科書の内容をより深く教えることができるしっかりした知識・学力を有している。
- ②専門分野以外のところについては、中学校の教科書程度の知識は有している。(現場では専門以外の科目を教えることもあり、②については見解が分かれるところであるが)

③採用システムが中学・高校一緒の場合は高等学校レベルで考える。

④教員として現場で生徒に教えることを想定して、必要な「知識・理解力」、現実の社会や歴史的事象に対する「関心・問題意識力」、教えるテーマ・事柄を生徒の「目線」で捉えなおし、教える内容を構想する、「構想・構成力」などを考える。

3 分析評価の結果

3.1 分析結果から見えてきた問題点

筑波大学の附属の社会科(地歴・公民)の教員による分析結果の率直な感想としては、「極端な悪問もないが、良問も少ない」に集約できるであろう。個々には工夫されていて、「良問」と感じさせるものも散見されるが、一方で「こんな問題出して意味があるの?」「はたして正解はあるの?」と思わせる出題があったのも事実である。

代表的な問題点をいくつかピックアップする。

(1)単なる知識、しかも断片的知識(知っているかどうか)を問う出題の件

古くて新しい問題!ではあるが、こうした出題(記述、マーク方式を問わず)が相変わらず残っている。はたして教員としてどのような資質を求めているのか疑問を感じる。「高校生クイズ選手権」ではないはず、限られた試験時間の中でどんな学力・能力を測る必要があるのか、十分吟味する必要がある。出題者側の言い分としては、基礎的知識として知っておいてほしいことを、幅広く出題したとの見解も聞かれそうだが、実際に現場で必要とされるのは、分からないこと、知らないことに直面したとき、自ら学ぼうとする力、教材研究をしてより良い授業をしようとする「自己学習力」こそが求められている。出題者側の安易な作問と思われてならない。

(2)出題者の古い知識・理解に基づいて出題している件

筆者が高校で習った教科書には確かにあったが、現在では習わないし、いかにも古い内容、捉え方といった問題も見られる。果たして出題にあたって現行の高校教科書等を参考に行っているのだろうか、また現代世界や日本の動向あるいは歴史学の動向について主体的に捉える努力をしているのか疑問を感じる。出題者の持っている「古い物差し」で合否が決定されたとしたら、受験生がかわいそうであろう。出題者の「自己研鑽力」が問われる。

(3)図版等の安易な引用の件

出題された図版等の中には、明らかに特定の教科書や生徒用資料集からのコピーと思われるものがある。

多くの場合、出典を明記せずに出されているが、問題作成の仕方、著作権等の点で大きな問題をはらんでいる。原典に当たる努力をしつつ、少なくとも出典は明記する。また、教科書や生徒用資料集からのそのままの引用は厳に慎むべきである。

(4) はたして正解は？あるいは何を要求しているのか？と疑問に思う出題の件

(1) とは对象的に、あるテーマ、事項について長文で記述させる出題がある。この場合は単なる断片的知識だけでは、論じられない。受験生が出題意図を理解し、それに必要な知識を使って、どのように論じるかの能力が問われる。その際、出題されている事柄をどのように捉えるか、いわば、見方・考え方と判断力そして文章構成能力等が問われる。

しかし、語句の解説に留まるような記述の出題があるかと思えば、はたして何を書かせたいのか、出題意図が不明瞭なものもある。正解は1つとは限らないが、その問題で受験生の可否を判定したとすればその判断基準、模範解答ないし解答例を示す出題者側の説明責任がある。はたして、作問過程で予想される解答を検討し、問題として意味があるものになっているかどうか検討されているのか、疑問に思うものもある。

(5) 学習方法・指導法を問う出題において、(4)の件も含めて工夫の足りない出題の件

新傾向として、授業(学習指導)案や板書の書き方を問う出題とか、模擬授業の実技などが取り入れられるようになってきた。このこと自体は実践力・速戦力の点からも必要とされていることであろう。

しかし、授業(学習指導)案、板書の書き方、授業の実際のやり方は一連のものであり、こうしたことは実際に現場で経験しながら鍛えられていくものである。採用試験という限られた時間の枠内でこうした能力を測ることに限界がある。非常勤講師や塾等での経験の有無が大きく左右する。そうした経験を重視するならば意味のある出題であるが、教員としての将来性とは多少違うことも考慮すべきであろう。マニュアル化された内容をうまく伝える技術・能力と社会科(地歴・公民)の教員に要求される資質・能力とは、違う部分があることを考えておく必要がある。

また、基本的な文献・資料等が、不十分なままに授業(学習指導)案を書け、板書例を書けといわれても、様々なパターンがありうるものであり、受験生は困るであろう。十分な資料と条件設定をきちんとした出題でないと、潜在的能力をふくめた「授業力」は測れない。出題者側の授業経験がベースとなって、ある種の思い

込みがあるのかもしれない。出題者自身が自由な発想で解答例をいくつか作成し、関係者で検討し、限られた時間の中での問題として成立するか否かを十分考えてほしい。

以上代表的な問題点にしぼってコメントをしたが、裏を返せばこうした点が改善できるような出題体制が課題として見えてこよう。「専門教養」の出題においてそれぞれの専門性を持ち、「確かな学力」を有する人の確保と作問時間の確保、そして関係者での協議・検討時間の十分な確保が必要であるが、よりよい人材確保のためには必要なことであろう。センター試験をはじめ附属学校の入試においても、毎年繰り返される問題作成はとても片手間の作業ではできないことを経験上、「体得」している。

4 出題例—疑問のある出題—

4.1 疑問のある出題例①:上記Ⅱ(1)に該当する例

—その1—

<資料1>の2つの問題は、出題内容自体は高等学校レベルまでの一般的知識を問う常識的問題である。しかし、こうした単なる知識を知っているか否かを問う出題のあり方に問題がある。また、No. 11(5)は時事問題のつもりで出題したのであるが、「MERCOSUR」について、受験生に聞くのは細かすぎる。全体として出題が安易な知識を問う問題である。後者も自然地理で地図帳などに出てくる代表的用語である。ただし、用語と場所等を機械的に結びつけるだけでそれ以上の設問ではない。単なる知識を聞くのと大差はない。

4.2 疑問のある出題例②:上記Ⅱ(1)に該当する例

—その2—

<資料2>の2つの問題は、学習指導要領に関する出題例である。前者の場合は語群からの選択なので、ある程度常識的に判断はできるが、後者は学習指導要領を暗記しておかないとできない。後者の場合は「解説書」も含めて受験対策をせよということであろうが、はたして指導要領や解説書を読んで覚えていることが、教員の資質として重要なのか、大いに疑問である。

4.3 疑問のある出題例③:上記Ⅱ(1)に該当する例

—その3—

<資料3>の出題は、マークシート方式の単なる常識的知識を聞くだけの問題に見える。しかし、問19は①の「きわめて」、④の「華人」と「華僑」の区別が、ポイ

ントとなり、一種の引っ掛け問題である。出題者の姿勢が問われる。

4.4 疑問のある出題例④:上記Ⅱ(2)に該当する例

〈資料4〉の問題は、年配の地理専門の教員には見慣れた設問であり、「昔、集落地理でやったなー」と思うであろう。しかし、現在の教科書において主に扱っているわけではない。受験生にこうした集落地理の分類まで知っていることを求めるのは酷である。もっとほかに聞くべきことがある。また、5(2)の「カンアルチン」は筆者も知らず、用語辞典で調べてみた結果、シンチャンウイグル自治区に見られる地下水路のことと分かった。山川の「地理用語集」に掲載されてはいるが、特に用語解説で聞くべき用語ではない。

4.5 疑問のある出題例⑤:上記Ⅱ(3)に該当する例

〈資料5〉の2つの問題の図は、いずれも出典が明記されていない。表の部分は明記しているのにかかわらずである。どちらも「データブック・オブ・ザ・ワールド」の孫引きと想像されるが、あえて書いていない。歴史等においても同様の例は数多く見られる。教科書や生徒用資料集の安易な「孫引き」はさけるとともに、せめて出典を明記することを求めたい。出題者の資質が問われる。

4.6 疑問のある出題例⑥:上記Ⅱ(4)に該当する例

〈資料6〉の最初の問題は、地理の用語解説問題である。他分野においてもしばしば見られる形式である。確かに書くべき内容は決まってくるので、採点はやり易い。また、単なる語句を聞くのに比べて、受験生の知識を測ることはできるが、工夫がなさ過ぎる。

次の世界史の問題は、行数にして36行、1000字程度の論述が求められている。大学でこうしたテーマに関係した分野を勉強していれば、たいしたことはないかもしれない。しかし、たまたま山が当たって書ける類の問題は避けるべきであろう。選択肢を増やす工夫がほしい。但し、多人数の受験生の中から特に専門領域に優れた人物をピックアップする目的ならありうらと思うが、いずれにせよもう少し工夫し、あわせて採点基準の明確化も必要であろう。

最後の公民の問題は、先の2つの問題に比べて出題意図、難易度、採点等を考えると良問と言えよう。

4.7 疑問のある出題例⑦:上記Ⅱ(5)に該当する例

〈資料7〉の2つは、新傾向の問題である。前者は板書例を解答する問題であるが、与えられたテーマでどん

な授業を展開するかは、プロの教員でも千差万別である。板書だけ取り出して書けと言うこと自体に無理があるが、それ以上にどんな板書が出題者の意図に合うのであろうか、大いに疑問が残る。

また、後者は最近流行の模擬授業の実技である。事前にテーマが与えられるとすれば別であるが、その場で課題が与えられるとすれば、なんら資料もなく単なるお話しで8分間のパフォーマンスをやることになる。出題者が逆の立場に立ったときもかなり困るのではないか、皮相な導入で終わらざるを得ない。話術で生徒を引きつける魅力があるか否かは、確かに測れるかもしれない。しかし、教材研究をした上で、どんな導入が必要かを考えたものとは違ったものになり、練り上げられた授業展開とはかなり質が違って来るであろう。どのような人材を求めているのであろうか、疑問が残る。

5 出題例一良問と思われる出題一

5.1 良問と思われる出題例①—出題者の問題意識・課題意識と工夫が鍵—

〈資料8〉の2つの問題を見比べて欲しい。どちらもサヘル砂漠化の問題を出題しているが、前者は単にサハラ砂漠の南縁の環境問題を用語として聞いているに過ぎない。しかし、後者はサヘル地域の自然環境から砂漠化の原因まで掘り下げて問うている。どちらが良問であるかは明らかであろう。

5.2 良問と思われる出題例②—定番の問題でも授業と生徒に引きつけて考えるのが鍵—

〈資料9〉の2つの問題は、中高問わず、地理でよく出題される問題である。そして、しばしばつまらない問題が多いのも事実である。しかし、前者は読図において、新旧比較して変化を見ると同時に、地域調査の視点を出題することにより、実践的課題を受験生に考えさせる良問である。後者の時差の問題も、表の読み取りを含めて、8つの小問から時差についての総合的理解を求める良問と言えよう。

5.3 良問と思われる出題例③—一つのテーマを掘り下げた総合的問題作成にチャレンジするのが鍵—

〈資料10〉の問題は、「日本人の信仰」に関する歴史の問題である。歴史の教科書ではこのような切り口でありあまり扱わないが、9つの小問から宗教を切り口に日本文化史を捉えることができる良問である。こうしたテーマ性のある総合問題から受験生の学力を測る問題が増えることを期待したい。

5.4 良問と思われる出題例④—学習指導要領を生きた出題にする鍵は……—

＜資料11＞の2つの問題を比較して欲しい。前者は先に述べた「疑問のある出題例①—その2—」とは傾向の違いの問題である。こちらは単なる暗記では解答できない。しかし、問い方が抽象的であり漠然とした設問である。どんな解答を要求しているのか疑問に感じる。後者の場合には焦点が絞られているので解答が明瞭になる。特に生徒の疑問にどう答えるかの(2)の問いは、教員になろうとする者の問題意識の所在を把握する上でも意味のある出題であろう。

5.5 良問と思われる出題例⑤—模擬授業や授業案作りを意味あるものにする鍵は……—

まだ発展途上の感はあるが、＜資料12＞の2つの問題を見て欲しい。前者は模擬授業を行うに当たって教科書を利用して授業作りをやらせている。これはプロの教員の場合も授業作りの第一歩は教科書分析であるから、意味のあるやり方である。但し、考える時間が30分で導入10分間の授業を行って、それを採点するのはやり方として無理がある。表面的な受けねらいの「パフォーマンス型」の授業となる心配がある。授業案メモ作成も含めて、じっくりやる方が重要であろう。

後者は資料を与えて50分間での授業案作成である。それなりに時間をかけているが、資料1つだけでは不十分であろう。逆に沢山の資料から授業テーマに沿った適切な資料を選択させて、そこから授業を組み立てるやりの方が意味がある。

5.6 良問と思われる出題例⑥—生徒の「目線」、授業者の「目線」からの実践的出題を……—

＜資料13＞の2つは実践的課題と関わった出題形式の問題である。こうした試みはもっと積極的に行われても良いのではないか。前者は「課題追究学習」を進める際に直面するであろう問題を想定して、教員としての指導・支援を具体的に問うている実践的な良問である。

後者は生徒の疑問の形式を取りつつ、社会科学習で重要な「なぜ」「どうして」などに教員としてどのように答えるべきかを問う良問である。

(付:4と5の「疑問」「良問」の出題例に地理分野が多いのは、筆者の分析担当が高校地理の部分であったことと、専門が地理教育だからであり、他分野が手薄になっている。手薄な部分は、次の「駒場の分析評価者からの補足」によって補うことでお許し願いたい。)

注1:一般教養と教職教養の分析は、筑波大学教育学系の田中統治教授を中心とするグループが行った。

専門教養の分析は、小学校教員採用試験問題については附属小学校が行い、盲・聾・養護学校関係の採用試験問題は、附属盲学校・聾学校・大塚養護学校・桐が丘養護学校が行った。中学校・高等学校教員採用試験問題については、附属中学校・高等学校・駒場中高等学校・坂戸高等学校・盲学校・大塚養護学校の教員が、「国語」「社会・地歴・公民」「数学」「理科」「音楽」「美術」「技術」「家庭」「保健体育」「英語」の10教科・科目に分かれて分析を行った。全体で100名以上の附属学校の教員が協力した。

注2:分析評価担当者は筑波大学附属中学校4名(館 潤二/関谷文宏/山口 正/山口泰宏)、筑波大学附属高等学校3名(田尻信一/日下部公昭/野口 剛)筑波大学附属駒場中・高等学校7名(大野 新/小林 汎/篠塚明彦/丸浜 昭/宮崎 章/小澤富士男/吉田俊弘)の計14名である。

分担は、中学社会については[北海道～静岡]を館・関谷・山口正・山口泰が、[愛知～沖縄]を大野・宮崎・吉田が担当した。高校地歴は、地理分野を小林、世界史分野を田尻・日下部が担当し、日本史分野は[北海道～静岡]を丸浜が、[愛知～沖縄]を野口が担当した。高校公民は小澤が担当し、一般教養的な共通部分は篠塚が分担した。

注3:第1部の専門教養の分析結果の報告は、小学校全科(附小・都留)、中高国語(附高・渡邊)、中高社会(駒場・小林)、中高数学(附中・大根田)、中高理科(附高・鈴木)、中高美術(附中・小宮山)、中学技術(附中・佐俣)、中高家庭(坂戸・小清水)、中高保健体育(附高・中塚)、中高英語(坂戸・工藤)、盲・聾・養護(盲・原田)、以上のメンバーが報告した。第2部のパネルディスカッションは、コーディネーターは谷川彰英、パネリストは八尾板 修(九州大学大学院教授)、角野茂樹(大阪府教育委員会小中学校課・首席指導主事)、桑原 隆(筑波大学大学院教授)、田中統治(筑波大学大学院教授)、都留 寛、小林 汎、鈴木 享の7名で行われた。

なお、当日のセミナーの報告書は、パネルディスカッションの内容を追加して、『試験問題から見る教員採用の現状と課題』(時事通信出版局・筑波大学附属学校教育局<産学連携セミナー>資料)として、時事通信出版局より発売(2005年12月発行・3000円)されている。

(2006・1・24 小林記)

6 駒場の分析評価者からの補足

6.1 中学社会(地理的分野)

- ①全体的には高校教科書レベルの問題が中心で難易度もそれほど高くない。ただ、一部には非常に細かい知識を問うているものもみられた。
- ②地理分野の出題形式は、いわゆる私立大学入試のように、空欄穴埋めや事項解説型のものが多い。それらによって知識量をみようとしていると思われる。一方、地理的分野だけあって、実施する各都道府県にちなんだ出題の例がみられた。これは将来教職に就いた際に、郷土の学習を進めなければならないことを考えた時に適切な出題であるといえる。しかし他方で、出題内容が非常に枝葉末節な知識を問うているケースもあり、一考を要する。
- ③実際の授業に則した出題をしている場合もあった。生徒が地形図の読み取りからわかったことをまとめたワークシートから出題している例(群馬)や、日本の地域的特色を工業からつかむ授業を展開する際のイメージ(図)や、資料を使った出題(静岡)など工夫された出題もみられた。調べ学習を展開しなければならない中学校の地理的分野の出題として適切なものといえる。
- ④中学社会の出題として三分野の融合をねらった出題もみられた。水にテーマをしぼって、地下水や河川、公害、環境問題まで幅広く扱った例(大分)などはユニークな出題である。単なる知識量を問う問題だけでなく、資料の読み取りや地理的事象の因果関係を問うような出題が今後増えることを期待したい。

(文責 大野)

6.2 中学社会(歴史的分野)

- ①1次試験では、中学・高校教科書での基本的な歴史事項に関する「知識」の理解を求める出題が主流であった。私立の大学入試問題よりはやさしく、細かい問題はほとんどなかった。また、国立の2次試験の大学入試問題ほど史料などに基づいて論述させるということもなかった。その分、面白みには欠けている。
- ②2次試験のある県では、模擬授業案や板書案を書かせるなどの試みをしているところも多く、それなりの工夫がなされていた。
- ③中学社会ということで、地理・歴史・公民各分野の全般的知識を有しているかどうかを問う形になっており、個別分野についての深入りは避けているのであろう。社会科の全分野について詳しい専門的知識を有するのは並大抵ではないため、仕方のない側面もあるが、中

学生に社会科への興味をかき立てるような意欲あるいは手だてをもっているかどうかは、現状の出題では確認できない。どの分野のどの切り口からでもよいが、中学生に教科書的な知識だけでなく、大学で深く学んだ分野から切り込んで、社会科の面白さを伝えられるかどうかを判断するような問題を出せないものだろうか。特定の分野の出題では不公平になるだろうから、10題ほどの中から選択させれば、可能ではないかと思われる。(文責 宮崎)

6.3 中学社会(公民的分野)

- ①全体的には高校教科書レベルの範囲内の出題がなされていた。
 - ②公民分野の出題形式を見ると、選択問題、一問一答形式が最も多く、次いで、ある概念や語句について「説明しなさい」という記述式の問題がみられた。いずれも中学・高校教科書レベルの基本的な知識を正確に理解しているかどうかを確認するための出題といえることができる。なお、学習指導要領について問う問題では、空欄補充型が散見された。出題者は、学習指導要領のセンテンスやキーワードを覚えることを求めているのであろうが、それが授業実践とどのように結びつくかを考えさせるような内容であることが必要であろう。
 - ③公民分野については、時事問題の指導が不可欠であるが、時事問題を出題した都道府県は少なかった。他方、経済分野の指導で欠かせない資料・データの読み取りについて問う問題が出されたことは好ましい傾向といえよう。
 - ④複数の自治体からは、実際の授業を想定して、どのような点に配慮して指導するのかを問う問題が出された。例えば、ディベート学習を実施する場合の「論点」や教師の「意図」を問う問題(静岡)、班別にテーマ学習を行う場合の教師からの指導・助言を問う問題(大阪)などは、教師としての資質を考えるうえで、比較的良好と考えられた問題であるといえることができるだろう。
- (文責 吉田)

6.4 高校公民

- ①必要以上に細かな知識が要求されるものもあったが、全般的には高校教科書レベルの内容で出題がされていた。もともと、公民分野全般(現代社会、政経、倫理)の確実な知識の集積と把握が重要であり、十分な知識習得のための準備が事前の段階で必要である。
- ②新聞や雑誌などの日常的な講読を通じた時事問題的関心が問われてくる問題も散見はされたが、全体的には

時事問題はそれほど多くはなかった。むしろ、この種の問題はもっと多く出題されるべきだと判断した。時事問題として多く出題されていたのは、京都議定書に関わるものが比較的多かった。

- ③ 選択問題には、選択の基準となる文章それ自体が曖昧な内容を含むものもあり、その面で迷う可能性もあるため、出題に際しては丁寧な文章構成と確実な内容把握のための推敲が必要とするものがあつた。
- ④ 記述に関わる問題は基本的には教科書レベルに準じて述べることで、充分出題者の意図には答えられるものと判断する。つまり、過度な専門的な知識や詳細な説明は不要であり、その面では教科書的内容把握で割り切つて、簡潔に答えることが要求されていた。
- ⑤ 採用に際しては、当然のことながら少数選抜を対象とするため、丁寧な教科書及び資料集理解が必要とされ、その基準に立って、大抵の設問内容を、高校教科書的知識レベルの問題として、また必要な知識レベルの問題として判断したが、中にはかなり細かな内容を解答として要求するものがあり、はたして適切なものなのかと考えてしまうものも散見した。その意味からすれば、概ね丁寧な教科書及び資料集理解を中心に採用試験に備えれば十分なのではないかと判断した。
- ⑥ しかしながら、実践的に授業を推し進めていくためには知識だけ判断するのは困難であり、教材選びのセンスや対象を的確にとらえそれにふさわしい授業を行う感覚、授業組み立てや情報を伝達する資料選び、社会的分析力や批判力、そしてなによりも大事な授業全般を支えていく情熱などは、この種の出題内容からは推し量ることは難しく、教師としての重要な才能と資質は、もう一つの別の基準（例えば長期の研修）で、採用試験では発見することの出来ないものを、補っていくことが必要ではないだろうか。
- ⑦ 従つて、各都道府県の出題内容は、あくまでも教師に必要な知識がどれだけ備わっているのかを判断する適正試験的内容として利用していくことが望ましいのではないかと考える。その面で考えると、必要以上に細かな知識を尋ねるものや、必要以上に思考に枠組みを与えるような出題内容は、今後ともに適正さを欠くのではないかと考えられる。（文責 小澤）

6.5 高校日本史

高校日本史の出題に関しての教員採用試験問題の検討結果について、出題例を含めて補足する。

① たんなる知識、しかも断片的知識を問う出題

<資料14>の問題では、「年表を見て」とあるが、それ

によって事項と事項の関わりを考察し、何らかのテーマを見いだしたりするわけではない。ただバラバラに何年にながらあったかをきいているだけである。年表は歴史学習にとって大事だが、どういう柱を立て、そこから何を考察するかが検討されていなければ意味がない。「歴史は単なる暗記物」という学習から抜け出すことが課題とされている中で、あまりに工夫のない、安易な出題である。残念ながら、1問1答形式で脈略がなくバラバラの知識だけを問うものも含めて、こうした出題は他の県でもまだ少なくない。

② 古いタイプの教科書にもとづいた出題

日本史では、古代史などでかなり専門的なことを問う一方で、近現代史の出題の比率がかなり低いところが数県ある。全都道府県数の1割をやや上回り、けつして低い数値とはいえない。近現代史を重視する日本史Aが設けられ、日本史Aのみをおく学校も増えている中で、この状況に見合った採用試験とはいえない。まだまだ教育現場で近現代史がきちんと教えられていない状況があるが、無関係ではないだろう。

たとえば、<資料15>では、古代史で、縦書きの5つの史料と9つの小問がある。出典名、類従三大格、(ウ)の穴埋めなど専門的で難題である。このほかに、ほぼ同じ分量の前近代史の大問が5つある。それに対し近現代史は寄生地主制についての大問1つである。『近代の寄生地主制の成立』というテーマで1880年代を中心に授業を行う場合の板書案を書きなさい」と「QHQが農地改革を必要とした理由を説明しなさい」という問である。今日の教科書と照らしても、近現代史が軽視され、質的にも量的にもいちじるしくバランスをかく出題である。

③ 地域史の知識だけを問う出題

日本史では、地域史に関する出題がかなりある。実際の学校現場でも求められるものであり、採用試験のひとつの重要なテーマである。ただ、おそらく多くの場合、教員となつてその地域と結びつき、調査・研究して、授業で使える地域史の財産を増やしていくことになるのだろう。採用試験の段階で知識・能力として何を求めるのかは工夫が欲しい。たんに地域史の知識だけを問うのは難問となる。そして、その例はけつこう見られる。たとえば、秋田県高地歴（日本史）で問われているつぎの人物は、5人とも、採用の段階で問われる知識として適切なのだろうか。

- 3 つぎの人物について、いつの時代のどんな業績のあつた人物かを50字程度(句読点を含む)でそれぞれ説明せよ。

(1) 小田野直武 (2) 菅江真澄 (3) 平

田篤胤 (4) 狩野亨吉 (5) 小牧近江

教員として多くの知識があることにこしたことはない。しかし、たとえば日露戦争について、まずどういう基本的知識を問うかは、採用試験として当然考慮されなければならない。〈資料16〉は、新潮新書の長山靖生『日露戦争—もうひとつの「物語」』をかなり長文引用した問題の一部である。「黄禍論」は、教員として知っていることではあろうが、あえて教員採用時点でもとめる知識ではあるまい。明石元次郎という人物も、なぜ教員採用試験で出題される必要があるのか疑問である。

④良問の例—しっかりと考えさせる問題

次に、良問と思われる出題をみたい。〈資料17〉は、仙台藩の国絵図を史料として使いながら生徒が作成したレポートに適切な助言を与える、という想定である。河川が強調して書かれている絵図の特徴が示され、そこから水運の重要性を読み取らせるにはどういう助言を与えるかが出題である。絵図をしっかりとながめ、読み取れたことの結果を答えるのではなく、読み取りのためにどこに着目をしていくかを考えることになるおもしろい問である。

〈資料18〉は、第一次世界大戦期の日本の状況を問う設問で、知識をバラバラに思い出すことが要求されるのではなく、時代像を思い起こしながら解いていくことになる。そして、その中に、表の数値を検討して地域の産業発展の特徴を考える設問が組み込まれている。「全国の動向をふまえながら」という設問の条件をうけて表の数値が示す意味を検討することから、見えてくることがある。かなり難しい問ではあるが、考えさせる良問といえよう。どちらも、地域の資料をもとに、しっかりと考えることを求めるものになっている。

(文責 丸浜)

<資料1> -高校地理共通(埼玉)/高校地理(茨城)-

1 次のNo. 1-No. 11に答えよ。

No. 1 ヘレニズム期のゼノンが創始し、古代ローマのセネカやマルクス・アウレリウス・アントニヌス等に受け継がれた哲学の学派は何か。下のA-Eから選び、記号で答えよ。
 A シーア派 B ストア派 C エピクロス派 D ネストリウス派

No. 2 隋朝・唐初などを中国風にする漢化政策を推進し、均田制・三長制などを施行した北魏第6代の皇帝を答えよ。

No. 3 モロッコ出身のイスラム教徒の旅行家で、旅行記「三大陸周遊記」を口述した人物を答えよ。

No. 4 以下は、第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたるアメリカ合衆国の大統領を就任順に並べたものである。() に入る大統領名を答えよ。
 ウィルソン - ハーディング - ターラジ - () - フランクリン・ルーズヴェルト

No. 5 1955年に第1回アジア・アフリカ会議が開催された。その開催都市を答えよ。

No. 6 古代日本の律令に基づく五畿七道の行政区分において、現在の埼玉県は政区画の一部であった。この政区画は、七道のうち何道に区分されていたか答えよ。

No. 7 15世紀初頭から、華族朝鮮との貿易によって大量にもたらされた輸入品で、衣料としてばかりでなく、軍需品等としても注目され、活用された生産物は何か答えよ。

No. 8 1609(慶長14)年より島津氏に屈服し、江戸幕府に対し朝貢使や貿易使などの外交使節を派遣していた王国を答えよ。

No. 9 南アメリカに関する次の(1)~(5)の問に答えよ。
 (1) ナリ南部にみられる、水河の浸食により形成された谷が沈降してできた海岸地形の名称を答えよ。
 (2) 南アメリカに多く居住する、先住民インディオとヨーロッパからの移民の混血民族名を答えよ。
 (3) 森林伐採が環境問題となっているが、アマゾン川流域の熱帯雨林の名称を答えよ。
 (4) アンデス山脈のチヌキカマヤクスコンゲイアなどで採掘され、近年電線などに利用され、生産量が増えている鉱山資源を下から選び、記号で答えよ。
 A 銅 B 鉄 C クワンチ D ボーネサイト
 (5) 1995年に発見したプタジル・アルゼンチン・ウルグアイ・パラグアイを加盟国とする経済協力のための組織の名称を答えよ。

3 次の地理用語に四角の深いことがらを下記の候補から選んで、その記号で答えなさい。
 ① 内約盆地 ② 地盤 ③ 砂嘴 ④ 海岸平野 ⑤ サバナ草原 ⑥ 扇状地三角州
 ⑦ サンアンドレアス脈 ⑧ 噴火火山 ⑨ レス ⑩ オアシス

図 等 (ア)広がる境界 (イ)砂礫山脈 (ウ)小地形 (エ)キラウエア山 (オ)新沖積 (カ)関東平野 (キ)カンボ
 (ク)昭和三十九年 (ク)ミシシッピ川 (コ)ナイル川 (ケ)セルバ (ク)小氷 (コ)雷 (カ)高層平野 (ク)開野
 (ク)大地形 (キ)先河山地 (ク)なつめ全し (ク)ずれる境界 (ト)狭まる境界

<資料2> -高校共通(福岡)/高校地理(群馬)-

問3 次の文は、高等学校学習指導要領(平成11年3月告示)の「地理歴史」の科目「地理B」の「内容」の(3)のAである。文中のA-Cの空欄に当てはまる語句を正しく組合せたものはどれか。

A 地帯化してとらえる現代世界の課題
 世界各地に生じている(A)に関する諸事象を地帯化して追究し、その現状や動向をとらえさせるとともに、地帯化することの(B)に気付かせ、それに関する(C)を身に付けさせる。

	A	B	C
①	地理的課題	汎用性	見方
②	世界的課題	有用性	見方
③	地理的課題	有用性	見方
④	世界的課題	汎用性	見方
⑤	地理的課題	汎用性	見方

問4 次の文は、高等学校学習指導要領(平成11年3月告示)の「地理歴史」の科目「日本史B」の「内容」の(1)のイの(ア)である。文中のA-Cの空欄に当てはまる語句を正しく組合せたものはどれか。

(ア)日本人の生活と精神
 衣食住の文化、(A)や信仰などに着目して、日本人の(B)や(C)の推移について追究させる。

	A	B	C
①	行	生活様式	心
②	習	生活様式	心
③	習	生活様式	精神生活
④	習	生活様式	精神生活
⑤	行	生活様式	精神生活

5 次の(1)、(2)の問に答えなさい。

(1) 平成15年4月から施行された学習指導要領の地理A、地理Bの目標を示した次の文章を読んで、①、②の問に答えなさい。
 「地理A」
 現代世界の地理的な諸課題を(A)を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる(イ)としての自覚と資質を養う。
 「地理B」
 現代世界の地理的事象を系統地理的、(ウ)に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる(イ)としての自覚と資質を養う。
 ① (ア)~(ウ)に適語を書け。
 ② 「地理的な見方や考え方」とは何か、説明せよ。
 (2) 「地理A」及び「地理B」において、評価基準を作成する際の4つの評価の観点をすべて書け。

<資料3> -高校共通(福岡)-

問19 東南アジアの中でも代表的な多民族国家であるマレーシアについて述べた次の各文のうち、誤っているものはどれか。

- ① 民族集団間では、宗教や習慣の違いが障壁となって、異なる民族相互の結婚はまわめて少ない。
- ② マレー系住民は、所得水準が他の民族に比べて低く、この状況を是正するためにプミブトラ政策が実施されている。
- ③ インド系住民の多くは、天然ゴムのエスターと（大農場）の労働者としてインド南部から移住した人々の子孫で、タミール語を話す。
- ④ かつて華と呼ばれた中国系住民は、最近では現地化が進み、華僑と呼ばれるようになった。
- ⑤ 商業やすず鉱業に従事する者が多い中国系住民の父方の祖先の主要な出身地は、中国南部の福建省や広東省である。

(~~~~線は筆者加筆)

<資料4> -高校地理(愛媛)-

- 4 次のa～fに当たる地名として最も適当なものを、馬群からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。
 a 新田集落 b 取原集落 c 養馬園敷村 d 名田百姓村 e 藤田百姓村 f 屯田兵村
 <馬群>ア 野原 イ 新居 ウ 五家荘 エ 岡 オ 太郎丸 カ 神田
- 5 次の事項を簡潔に説明せよ。
 (1) 納屋集落 (2) カンアルチン (3) アウトラゲデルソール

<資料5> -中学社会(福島)/中学社会(大分)-

② 次の表は、主な商品作物の生産量上位5か国と世界に占める割合を示したものである。この表を見て、あとの問いに答えなさい。ただし、数字は小数点以下を切り捨ててある。

	天然ゴム					カカオ豆				
	A	25	34	ブラジル	25	インドネシア	38	ブラジル	27	
中国	25	34	ブラジル	25	インドネシア	38	ブラジル	27		
7月	20	インドネシア	23	ベトナム	11	インド	13	インド	22	
ベトナム	8	インドネシア	10	インドネシア	7	インドネシア	10	中国	6	
インド	8	インド	9	インドネシア	5	インドネシア	10	インドネシア	3	
インドネシア	5	中国	7	インドネシア	4	ブラジル	6	タイ	3	

【データブック オブザワールド2004年版】

問：表中のA～Cにあてはまる作物名を書きなさい。また、その作物を下図の①～⑤から1つずつ選び、記号で書きなさい。



(6) 次の図は表中にある採油作物のうちのいずれか4つを示した図である。作物dおよびeに当てはまるものをA～Eからそれぞれ1つずつ選び、符号を書きなさい。



(7) 下の表は、日本、アメリカ、フランス及び表中の2国における1人、1年あたりの食料供給量を示したものである。Zに当てはまるものをA～Eから1つ選び、符号を書きなさい。

単位 (kg) (糧食料ベース)

	穀類	肉類	牛乳・乳製品	砂糖類	油脂類
A	113.8	42.2	93.0	20.0	19.5
I	116.3	109.0	397.2	36.2	21.8
ウ	115.5	123.0	283.0	32.5	30.8
E	161.5	95.6	309.9	28.7	31.3

<2004データブックオブザワールド>から作成

＜資料6＞ 一高校地理(岩手)／高校世界史(熊本)／高校公民(長崎)一

4 次の(1)～(5)の語句について説明しなさい。
 (1)GMT (2)持続可能な開発 (3)乾燥農法 (4)輪中集落 (5)等質地域

※下記の問題の中から1つを選び、その番号を○で囲み、枠内に答えよ。
 問題
 1 西ローマ帝国滅亡の原因について述べよ。
 2 モンゴル帝国から元代にかけての東西文化の交流について述べよ。

□7 次の必須課題に答え、また、選択課題から1つを選び答えよ。ただし、解答欄には選んだ課題番号を必ず記入すること。
 必須課題 「尊厳死」と「安楽死」の違いを説明せよ。
 選択課題1 医療関係で使用される「インフォームド・コンセント」とはどのようなものか。
 選択課題2 「デジタル・デバイド」の国際的課題を答えよ。
 選択課題3 「NGO」について、事例をあげて説明せよ。
 選択課題4 「ユニバーサルデザイン」の考え方を、事例をあげて説明せよ。

＜資料7＞ 一高校世界史(鳥取)／高校地理の要技(和歌山)一

(2) 太平洋戦争開始とともに、ドイツ・イタリアもアメリカ合衆国に宣戦し、日本・ドイツ・イタリアらの枢軸国と、アメリカ・イギリス・ソ連ら連合国の戦争となり、文字どおりの世界大戦となった。連合国側は1941年8月から1945年7月までの間にくりかえし会談を開き、大戦の目的を明確にしてきた。

問 上記の説明文の下線部を中心に投書を展開すると想定し、下の語句を用いて「投書」例を作成しなさい。
 なお、解答用紙には解答欄が2枚設定してあるが、これを一枚の「投書」とみなして解答しなさい。また、下段に白地図を設定するので必ずこれを用いた「投書」例にしなさい。

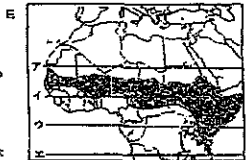
(語句)	カサブランカ会議	ポツダム会議	カイロ会議	ヤルタ会議
	大西洋会議	テヘラン会議		

模擬授業(8分)
 生徒の興味・関心を高めることに留意し、次の1～6の課題の中から1つを選択し、その授業の導入部分について8分間の模擬授業を行いなさい。
 (課題)
 1 農業から見た世界(地理B)
 2 世界の人口問題(地理B)
 3 荘園の発達と武士の台頭(日本史B)
 4 女性の100年～主題学習～(日本史B)
 5 農耕生活と遊牧生活(世界史B)
 6 東アジアの国々はヨーロッパ列強の勢力に対してどのように対応したのだろうか。～主題学習～(世界史B)

＜資料8＞ 一高校共通(広島)／高校地理(群馬)一

Ⅲ 資料Ⅱを見て、以下の設問に答えよ。

問1 赤道は、A～Eのどれか。
 問2 ①の地域で盛んでいる深刻な環境問題は何か。
 問3 次の各文を、Eに示された地域に位置する、ある国についての説明である。番号をそれぞれ答えよ。
 (1) この国は、面積約100万km²、人口約7193万人である。南はスーダン、西はリビアと接し、運河通行収入は、政府の重要な財源である。
 (2) この国は、ギニア湾東部沿岸に位置し、人口約1.24億人でアフリカ最大である。コーヒー、油やし、カカオなどの生産が盛んである。



3 サヘルに関する次の文章を読み、(1)～(6)の問いに答えなさい。
 サハラ砂漠南縁のAサヘルは、典型的なステップからなる。サヘルは、年による差が大きいものの、(ア)の雨季にわずかに降る。1年の大半は乾季であり、サハラ砂漠からの乾いた強風である(イ)が吹く。サヘルに広がるサバナは、B草原の間に樹木が点在する。
 Cサヘルで砂漠化が始まった時期は、図1から推察できる。砂漠化は長期的な気候変動のような自然的要因で進むものもあるが、問題視されているのは、D人為的な要因である。

(1) (ア)に当てはまる時期を次のa～dから1つ選び、記号を書け。
 a 3月から5月 b 6月から8月 c 9月から11月 d 12月から2月
 (2) (イ)に当てはまる用語を書け。
 (3) 下線部Aに関して、サヘルを斜線(〳)で、ニジェール川は太い実線(——)で、マリイの古都トンプクトゥーは黒点(●)で、それぞれ解答欄の白地図中に記入せよ。
 (4) 下線部Bに関して、次の写真の中央にある樹木名を書け。



(5) 下線部Cに関して、図1は、サヘルの年降水量の変化を示したものである。図1から、サヘルはいっしょから、砂漠化が始まったと判断できるか、また、そう判断した理由を、それぞれ書け。
 (グラフ略)

[環境変動と地帯砂漠化(1991)ほかにより作成]
 (6) 下線部Dに関して、サヘルにおける砂漠化の人為的要因とはどのようなことか、説明せよ。

<資料9> -高校地理(新潟)/高校地理(山梨)-

[1] 次の図1、図2の二つの地形図を見て、下の(1)~(5)の問いに答えなさい。

(1) 図1の地形図の利根川部の長さに最も近い数値を次のア～エから一つ選び、その符号を書け。
 ア 130m イ 225m ウ 350m エ 1300m

(2) 図1の地形図にある中世前期、中世後期、近世前期の集落形成地を連する歴史的な要素を書け。

(3) 図1の地形図にある集落が定まる地理的条件をすべて書き。

(4) 図2の地形図に見られる「既設駅」は、江戸時代においてどのような集落として発展したが、幸い。

(5) 両図が明確に異なる点として変化してきたかについて、これらの地形図をもとに地理的事象を書きなさい。あな
 たなら、どのような点に着目し、どのようなことを発生に誘導させるか、書き。

[3] 下の航空ダイヤを見て、問1～問8に答えよ。

東京(成田) TOKYO (NARITA)				ホノルル HONOLULU				GMT -10
便名	出発曜日	NRT	HNL	便名	出発曜日	HNL	NRT	所要
JL 80	金・土	09:40	→	7:05	JL 88	金・土	8:15	11:15 2日 8:00
CO 808	火・金・土	09:30	→	8:05	NW 79	月・水・土	8:00	13:40 2日 8:40
UA 826	月・水・木・土	19:05	→	8:05	NH 806	火・水・土	10:40	13:05 2日 8:15
NW 81	月・火・金・土	20:00	→	8:30	NW 9	月・水・木・土	10:45	13:45 2日 8:00
NW 10	月・水・木・土	20:15	→	8:45	NW 21	火・水・日	11:00	14:05 2日 8:05
NW 22	火・水・日	20:25	→	8:55	UA 827	月・水・木・土	11:15	13:05 2日 7:40
JL 76	月・水・木・土	20:35	→	9:40	JL 75	月・水・木・土	11:40	14:40 2日 8:00
NH 1022	火・水・土	20:40	→	8:50	NH 1031	火・水・土	12:00	15:15 2日 8:15
NW 22	月・水・木・土	20:55	→	9:25	JL 71	月・水・木・土	12:40	15:10 2日 8:00

- 問1 表中の「GMT」とは何を意味するか、記せ。
- 問2 表中「GMT」の横にある「-10」は何を意味するか、記せ。
- 問3 「ホノルル」と日本(東京・成田)の時差は何時間になるか、記せ。
- 問4 「東京・成田」を「GMT []」で表す場合、[]の中に入る数値を記せ。
- 問5 成田に、水曜日に、しかも午後2時前に到着したい時、ホノルル発で搭乗可能な便はいくつあるか、記せ。
- 問6 ハワイ旅行の観光客向けに、「平日の夜間出発(夜8時以後)、平日の早朝到着(朝9時前到着)便」に割引商品を発売したい。その対象となる日本の航空会社の便はいくつあるか、記せ。
- 問7 両都市の時刻はそれぞれ現地時間で示されている。成田を8月1日(土曜日)の「JL 80」便に搭乗したとき
 (1) ホノルルに到着したときは、何月何日何時何分か。
 (2) また到着時刻は、何時間何分か。
 (3) その時の日本の時刻は、何月何日何時何分か。
- 問8 所要時間が往路と復路で異なる理由を記せ。

<資料10> -中学社会(長崎)-

I 日本人の信仰に関する次のA～Cの文を読んで、問いに答えよ。

A
 現在、日本で行われている年中行事や通儀には様々な宗教の影響がみられる。多くの人は元旦に神社に詣で、盆には寺院の盆に参り、年末には①クリスマスをお祝いする。結婚式の多くは神前であげられ、葬式の大半は仏式で行われる。こうしたことは教々によって別に違和感なく思われるが、②一神教の世界で育った外国人にとっては奇妙に感じられるようである。このような「宗教的な混乱」はどのようにして生まれたのであろうか。
 日本人が古くから信仰の対象とした「カミ」は「八百万のカミ」とよばれるように、無数に存在し、互いに他とは対立せず、他を排除しないものであった。仏教の仏やキリスト教の神も外来の「カミ」として受け入れられた。もちろん③伝来当初には異質な存在として排外しようとする動きもあり為政者による鎮圧も行われたが、受け入れられたあとは「日本化」し、次第に人々の間に受け入れられていった。

問1 下線部①について、我が国で最初にクリスマスが祝われた時のことについて述べた下の文の空欄(a)、(b)に適切な語を記せ。

イエス会の宣教師(a)は鹿児島に上陸したあと、平戸、京都、府内(大分)などに滞在したが、一番長く滞在したのは山口であった。山口で(a)は助合貿易を独占するなど大きな勢力を誇った(b)氏の許可を受け布教を行い、500人以上の人々が洗礼を受けた。(a)が日本を離れた翌年、宣教師トルレスらが、山口の司祭に日本人信徒を招いてクリスマスの祝を促した。これが我が国でクリスマスが祝われた最初だといわれている。

問2 下線部②について、代表的な一神教とされる次のA～Cの宗教を、成立した時期が古いものから順番に並べよ。
 A. キリスト教 B. イスラム教 C. ユダヤ教

問3 下線部③について、仏教が我が国に公式に伝来した時期に一番近い出来事について述べた文を、次の中から1つ選び記号で答えよ。
 A. 隋が中国を統一した。
 B. 新羅が朝鮮半島を統一した。
 C. ローマ帝国が東西に分裂した。
 D. インカ帝国が成立した。

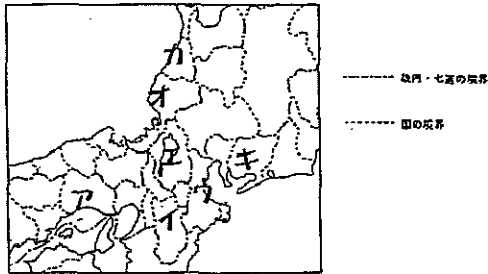
B
 日本人に一番影響を与えた宗教は仏教であろう。その仏教が日本に普及する過程で従来の「カミ」と融合する神仏習合がおこったが、仏教の日本化という点でより重要なのは鎌倉新仏教の成立である。④それ以前の仏教は高度な知識・学問としてとらえられがちであったが、⑤鎌倉新仏教の成立によって、人間の救済という仏教のあるべき姿が探求された。こうして新仏教は民衆の間に広まり、仏教の日本化は大きく進んでいった。
 室町時代には日蓮宗や一向宗を中心に布教活動が盛んに行われ、⑥団結した信徒が対立勢力と戦うこともあった。その後、江戸幕府による寺請制度によって、⑦人々は必ずしづれかの寺院の檀越になることが強制され、仏教は人々の間に根をおろした反面、発展にあまりみられなくなった。

問4 下線部④に関連して、最澄が開いた寺院で朝廷の保護を受け、旧仏教側の最大の拠点で仏教教団の中心であった天台宗の寺院名を答えよ。

問5 下線部⑤について、鎌倉新仏教の開祖について述べた文として誤っているものを、次の中から1つ選び記号で答えよ。

- ア. 法然はひたすらに念仏を唱えれば、阿彌陀仏が極楽へ迎えてくれると説いた。
 イ. 親鸞は阿彌陀仏の本当の救済対象は煩惱の深い人間(悪人)であると説いた。
 ウ. 蓮元は密教の呪法を行うことによって悟りを開くことができると説いた。
 エ. 日蓮は法華経の教えを最上のものとして題目を唱えることをすすめた。

問6 下線部①について、守服を倒した一向宗の門徒たちが約1世紀のあいだ支配した国を、下の地図の中から1つ選び記号で答えよ。



問7 下線部②について、このような政策がとられた理由を簡潔に述べよ。

ウ

現代の我々の生活にも、古くから行われた信仰に関連のある行事や習慣が多く残っている。
 ①神社の祭りや盆踊りはそれぞれの地域の大きな行事であり、②神社仏閣への参詣は庶民の娯楽として盛んに行われている。雑祭り、端午、七夕などの節供のように古来の日本や中国の信仰が民間に定着したものもある。信仰に由来する各種の舞など次第に失われつつあるものもあるが、こうした行事や習慣の由来を知り後世に伝えていくことは大切なことである。

問8 下線部③について、京師八坂神社の祭礼で、応仁の乱で途絶えていたのを京師の町衆が復興させたものを何というか。漢字3字で記せ。

問9 下線部④に関連して、江戸時代後期には各地の神社仏閣に参詣することがさかんになったが、なかでも多くの参詣者を集めた伊勢神宮の所在する国を、問8の地図の中から1つ選び記号で答えよ。

<資料11> 一高校地理(岩手)/高校共通(京都府)一

5 平成15年度から実施されている学習指導要領「地理A」の大項目「(1)現代世界の特色と地理的状況」は、「ア 地球上の世界と地域構成」、「イ 結び付く現代世界」、「ウ 多様性を増す人間行動と現代世界」及び「エ 身近な地域の国際化の進展」の四つの中項目から構成されている。
 このうち、「イ 結び付く現代世界」を扱う場合、あなたなら何を主題として、どのように授業を展開するか、具体的な授業の展開例を用いて説明しなさい。また、その単元のねらいや指導上の留意点について述べなさい。

7 平成11年3月に告示された高等学校学習指導要領(平成15年12月一部改正)をもとに、次の各問に答えなさい。

(1) 次の文は、「第2章 第2節地理歴史 第3款各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。これについて下の各問に答えなさい。

1. 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。
 (1) 地理歴史科の目標を達成するため、①教科全体として開始のとれた指導が行われるよう、適切に留意すること。
 (2) 中学校社会科及び公民科との関連並びに地理歴史科に属する科目相互の関連に留意すること。
 2. 各科目の指導に当たっては、指導を主体的に活用する学習活動を重視するとともに、②作乐的、主体的な学習を取り入れるよう配慮するものとする。(以下略)

① 下線部①を各科目の目標や内容の取扱いを踏まえて具体的に説明しなさい。

② 下線部②について、次のア・イの問に答えなさい。

ア なぜそのような配慮が必要なのか、理由を簡潔に述べなさい。

イ どのような学習活動が考えられるか、具体的な指導項目を二つ取り上げ、それぞれについて例示しなさい。

(2) あなたが授業を担当している中学の生徒が、「現代社会や政治・経済の授業と違って、地理や歴史は勉強しても将来役に立たないのではないですか」という疑問を投げかけてきた。あなたは、どのように生徒の疑問に対応するか、学習指導要領に述べられている地理歴史科の目標を踏まえて、要点を箇条書きで答えなさい。

机上の教科書「中学社会 公民」の「第3章わたしたちの暮らしと経済」の「第2節福祉と国民を守る政府の役割」の第1時間目の「政府の経済活動を考える」(P138~139)の内容を50分間で指導するとして、授業の展開を考えてください。

会場には黒板及び下記の物を準備していますので、必要であれば使用してください。また、写真等の資料があるものと想定して、授業を進行してもかまいません。考える時間は30分間で。

模擬授業は、本時のねらいを発表した後、最初の10分間を実演してもらいます。教室に生徒がいるつもりで行ってください。面接審査員は、生徒役ではありませんので、授業等の発問に対しては応答することはありません。授業を始めてから10分経過したら合図をしますので、合図があるまでは授業を進めてください。

配布されたメモ用紙は、授業の情景などを書くために使ってもかまいませんが、教科書には書き込み等をしないでください。模擬授業の際には、メモ用紙を見てもかまいません。

なお、メモ用紙は評価の対象にはなりませんが、面接終了後に回収しますので、退室時に係員に渡してください。

※ 10分間の授業終了後、本時の授業を進めるにあたって、特に気を付けたことや記感したことについて質問します。

記

【準備物】

- ・チョーク(白、赤、黄色)
- ・指示棒

次の資料は、都道府県別の面積及び1980年と2000年における人口を示している。この資料のデータを用いて、中学校社会科の「人口問題」の授業で説明したいことを1つ書き、それをわかりやすく説明するための教材を作成しなさい。

都道府県	面積 (km ²)	1980年		2000年		都道府県	面積 (km ²)	1980年		2000年	
		人口(千人)	人口(千人)	人口(千人)	人口(千人)			人口(千人)	人口(千人)	人口(千人)	人口(千人)
北海道	78,417	5,576	5,683	延 賀	4,017	1,080	1,343				
青 森	9,606	1,524	1,478	宮 城	4,613	2,527	2,544				
岩 手	15,278	1,422	1,416	大 阪	1,893	8,473	8,805				
宮 城	7,285	2,082	2,365	兵 庫	8,392	5,145	5,551				
秋 田	11,612	1,257	1,189	西 京	3,691	1,209	1,443				
山 形	9,323	1,252	1,244	和歌山	4,726	1,087	1,070				
福 島	13,782	2,035	2,127	鳥 取	3,507	684	613				
茨 城	6,096	2,558	2,988	島 根	6,707	765	762				
栃 木	6,408	1,792	2,005	岡 山	7,112	1,871	1,951				
群 馬	6,363	1,849	2,025	広 島	8,477	2,739	2,879				
埼 玉	3,797	5,420	6,938	山 口	6,110	1,587	1,528				
千 葉	5,156	4,735	5,928	香 川	4,145	825	824				
東 京	2,187	11,618	12,964	徳 島	1,976	1,000	1,023				
神奈川	2,415	6,824	8,490	愛 媛	5,876	1,507	1,493				
新 潟	12,582	2,451	2,478	高 知	7,105	831	814				
富 山	4,247	1,103	1,121	福 岡	4,971	4,553	5,910				
石 川	4,185	1,119	1,181	佐 賀	2,439	464	877				
岐 阜	4,189	794	829	長 崎	4,092	1,591	1,517				
福 山	4,485	884	888	熊本	7,484	1,790	1,859				
長 野	13,585	2,084	2,215	大 分	6,338	1,229	1,321				
岐阜	10,598	1,960	2,108	宮 崎	7,734	1,152	1,170				
静 岡	7,779	3,447	3,707	鹿児島	9,187	1,786	1,786				
愛 知	5,156	6,222	7,043	沖 縄	2,271	1,107	1,318				
三 重	5,776	1,687	1,857	全 国	372,837	117,060	128,828				

1980年の人口は「日本の100年 第4版」、面積及び2000年の人口は「日本国勢調査2002」より

- 注1 北方領土と竹島は、いずれの面積にも含まない。
- 注2 十和田市は、青森・秋田両県の面積に含まない。
- 注3 全国計の面積には、十和田湖及び境界不明分を含む。

① 課題研究学習について、次の問いに答えよ。

Aさんのクラスでは、「わが町のゴミ問題」を共通テーマに発表会をすることになった。クラスを六つの班に分けて、より具体的なテーマを決め、調べることにした。そこで、Aさんの班は発表会までに利用できる7時間を次のように組み立てた。下の表をみて、あとの(1)~(4)の問いに答えよ。

時	各 時 間 の 活 動 内 容
1	(1)選テーマの決定 ア 話し合って具体的なテーマを決める。 イ 研究計画を立て、分担を決める。
2	資料集めと調査の準備 ア 本やパンフレットを渡し、予備学習をする。 イ (2)インターネットで調べる。 ウ フィールドワークの訪問先を決め、依頼する。 エ 訪問先への質問を考える。
3	フィールドワーク ア 訪問のための準備をする。 (3)メモ、カセット、筆記用具など
4	イ 分担ごとに聞き取りと資料集めをする。 ウ 訪問先へ礼状をだす。
5	(3)資料の整理と分析 ア 集めてきた資料を整理する。
6	イ 発表内容をまとめる。
7	(4)発表会の準備 ア 発表方法と役割分担を決める。 イ 発表資料や課題の準備をする。 ウ リハーサルをする。

- (1) 選テーマの決定において、具体的なテーマの例を示してアドバイスしたい。その例を三つ示せ。
- (2) インターネットを利用して情報を収集することの利点を二つと、収集する際の生徒への注意事項を答えよ。
- (3) 生徒はどのように資料をまとめたらよいのか迷っている。まとめ方についてどのようなアドバイスをするか、二つ答えよ。
- (4) 効果的な発表の仕方についてアドバイスをしたい。どのようなアドバイスをするか、二つ答えよ。

8 この問題は【A】【B】から1つを選び、解答せよ。

次に示された状況問題について、解答した上で、なぜその選択が正確なのかを理由しながら、生徒の質問にも答えなさい。その際、必要があれば、地図や図・流れ図を使って説明してもよい。その場合は、地図は手書きの地図でし、流れ図も使用した場合は記入すること。また、説明又は生徒に話しかける文体ではなく、説明する内容を簡潔にまとめること。

【A】
問題 二つの世界大戦間の中国について述べた次の各文から、正しいものを選び、記号で答えよ。
あ. 孫介石は三民主義を発表して第一次国共合作をおこなった。
い. 日本軍部の満州国建國に對して、第二次国共合作が成立した。
う. 共産党は大西瀾(長官)の途中の八・一宣言で抗日民族統一戦線の結成を呼びかけた。
え. 葉作霖は西安で孫介石を捕らえ、抗日と内戦停止を説いた。
生活の疑問 二つの世界大戦間の中国がとて複雑で理解しにくい。特に、国民党と中国共産党の命運も複雑したり、戦ったりでよくわかりません。国民党と共産党の動きに絞って、第一次国共合作から第二次国共合作までを、できれば図示して、説明して下さい。

【B】
問題 古代ローマ時代に見られた「戦士共同体としての都市国家の概念」について、次の各文のうち、この概念に該当しないものはどれか。一つ選び、記号で答えよ。
あ. 市民の自己の負担によって成り立つ。
い. とともに戦うものどうしの間での政治的平等が認められる。
う. 市民が軍事に参加することによって、先鋒を立てる。
え. 戦士としての職業性のゆえに、市民が政治に参加する。

(1981年大学入試センター試験問題)
生活の疑問 「戦士共同体としての都市国家の概念」という概念は、ローマの地中海部出陣から帝政開始までの間に見られなくなったようだが、この時期のローマの政治的な状況や軍事的な変化について教えて下さい。そうすればこの概念の転換の理由も解るといいます。

<資料14> —高校日本史(茨城)—

次の源平時代の年表を見て、以下の質問に答えなさい。

年	事	説	社	説
1333	足利義満	1333 後醍醐天皇の降詔の新政府を築く	1334 (ア) 源家が善かれ、建武の新政を詔す	
1336	①足利義満	1336 (イ) の制定	1341 (ウ) 源を(エ)に滅ぼす	
1338		1338 源氏、足利大将軍となる	1352 (キ) 令を発す	
1349		1349 足利(オ)、初代の足利将軍となる	1401 通稱、建武(ケ)を明に改め	
1350-52		1350-52 (カ) おこる	1419 応永の外寇	
1392	②足利義満	1392 南北朝の合一	1429 正長の土一揆	
1399	③足利義満	1399 応永の乱で(ク)が敗死	1429 (シ)の土一揆	
1416	④足利義満	1416 ①(カ)の乱をこら	1439 (セ)、足利学校を再興	
1428	⑤足利義満	1428 (サ)、源氏王位を擁護		
1438-39	⑥足利義満	1438-39 (ス)の乱で建武公方持氏が自殺		
1440-41		1440-41 ②(カ)の乱で源氏の子ら、(ソ)を倒す	1441 高倉の土一揆	
1441		1441 高倉の乱		
1455	⑦足利義満	1455 建武公方足利成氏、關東管領上杉氏と対立し、下総(タ)に落ち	1485-93 山城の田一揆	
1467-77		1467-77 応永の乱		
1495	⑧足利義満	1495 (ツ)、小田原城を築く	1523 筑前中津で(ト)の乱おこる	
1551	⑨足利義満	1551 (チ)、大内義隆を攻撃	1548 キリスト教伝来	
1573	⑩足利義満	1573 長町幕府成立		

問1 年表中の空欄(ア)～(チ)に適切な言葉を記しなさい。

問2 下総(タ)について、建武公方の行政府である鎌倉府は関東を中心に10か国を支配した(後には出羽・駿奥も)、関東8か国以外の2か国はどこか。記しなさい。

問3 下総(タ)について、このとき(コ)方につき、足利持氏と対立した源氏の1人で、書院の在任氏一族の人物は誰か。記しなさい。

問4 下総(タ)について、この合戦で敗北した結城氏はその後復讐するが、天正十八(1590)年、徳川家康の子の1人が結城家を没ぼ、その従兄弟に氏対となる、この人物とは誰か。記しなさい。

<資料15> —高校地歴・日本史(福島)—

7 次の史料A～Eを読み、あとの問いに答えなさい。

<p>A 大化四年四月辛亥、治部卿 漸以編修、遂遷延與信濃之臣、 始置攝戶。</p>	<p>B 宝龜十一年三月、陸奥國上 治郡大領外佐五位下伊治公孫 呂反、率徒衆殺按察使藤原 位下起朝臣藤原於伊治城。</p>	<p>C 大政官等、應承(ウ)事、中 地之外、皆從神祇、其兵庫 及國府等、皆從(ウ)以死守 衛、五所守司千等、作兼守 延曆十一年六月十四日 〔類聚三代格〕</p>	<p>D 延暦元年十二月壬子、(中 略)至于延曆、多延解由、如 此不責、豈曰延曆、自今以後、 源朝國司、滿百廿日、未得解 由者、宜受位降食料以受得來</p>	<p>E 延暦廿四年十二月壬寅、公 朝奉建日、伏奏給言、延曆未 已、源氏之勢、漸成朝廷内 府臣侍殿上、有勅、令、藤原 朝臣持朝、兼守朝臣藤原 方天下所去、兼守朝臣持朝 此西事、百姓安之、</p>
--	--	--	--	---

問1 史料A～Eのうち『ア』『イ』には出典名が入る。それぞれ書きなさい。

問2 史料A中の傍線部について、これは現在の何県に設置されたと推定されているか、書きなさい。

問3 史料A・Bの傍線部にみられる城・櫓をあわせて「城櫓」とよんでいるが、これはどのような性格・機能をもった施設か、書きなさい。

問4 史料Bの反乱は、大規模なものであった。西暦何年に起きたか、書きなさい。

問5 史料Cの出典である『類聚三代格』は、三代にわたる格を編纂したものである。この格を編纂された順に書きなさい。

問6 史料C中の(ウ)にあてはまる語句を書きなさい。

問7 史料Dは、国司の不正についての対策を講じたものであるが、このことに関して、この頃に設置された令外官の名称を書きなさい。

問8 史料E中の傍線部の軍事と造作とは、それぞれ何をさしているか、書きなさい。

問9 史料E中の藤原朝臣持朝らが建議して置かれるようになった観察使とはどのような役割を持った令外官か、書きなさい。

〈資料16〉 —高校地歴・日本史選択者用(大分)—

4 次の文を読み、(1)～(11)の問いに答えなさい。

二十一世紀に生きるわれわれは、a アフガン戦争やイラク戦争の報道で、戦場からのリアルタイムの映像に慣れてしまっている。だが、だからといって、本当に戦争を知っているわけではない。われわれが見ているのは、テレビが映し出す映像にすぎない。しかも従軍カメラマンが伝える映像は、軍当局の協力なり検閲なりを経ており、いわば加工された情報である。(中略)

今から百年前に起きた日露戦争では、すでに戦争における国家のイメージ戦略が重んじられ、報道ジャーナリズムが世論形成に大きな役割を果たした。その意味で日露戦争は、きわめて現代的な戦争だったといえる。日露戦争はその後の日本の運命を大きく変えたばかりでなく、世界的にも大きな潮流を生み出したといわれている。それは白人人種の優越神話に脚を入れたことだ。日露戦争は近代になって、はじめて有色人種が白人人種に勝利した戦争だった。このためイギリス支配下のインドでは、日本への関心が急速に高まった。またロシアの圧力に苦しんでいたフィンランドやポーランド、トルコの人々をも勇気づけたとされている。このような言説は、日露戦争の正当性を強調する文脈のなかで、今でもしばしば語られているところだ。民族意識の高まりが、戦争に向かって国民を団結させる基礎になった。

だがその一方で、戦時中の日本政府は欧米の世論に気を遣い、c 「人種戦争」「宗教対立」というイメージを押さえることに、細心の注意を払った。欧米列強諸国の協力なしには、d 戦費調達から軍事物資の補充、e 講和交渉、そして戦後処理などを有利に運べないと分かっていたためだ。非キリスト教徒の有色人種が台頭するのを、f 欧米人は「黄禍」と呼んでいた。(中略)

日本はこの戦争を、ロシアの侵略に対する自国の独立防衛ラインを守るための戦争であり、一種の防衛戦争だと宣伝した。また日本は議会制度を持った立憲国家であり、ロシアのような専制君主国家とは異なるという宣伝を、特にアメリカ世論に向けて発信し続けた。(中略)

こうしたg 外交、対外イメージ戦略面の宣伝ばかりでなく、国内でも戦争報道は大賑わいだっただ。日露戦争時も、メディア産業にとって戦争はドル箱だった。日露戦争は、もしかしたら日本の報道ジャーナリズムが最も活発に自主的な活動を展開した戦争だった。h 十年前の日清戦争の時代には、まだ新聞や雑誌の規模も小さく、民間の通信技術も未発達だった。そのため外地の戦場から即応性のある報道を行うことは難しかった。だが日露戦争の頃には、写真を多用した紙面作りが可能になっていた。

しかも日露戦争当時は、外国人の従軍記者や士官の観戦を許すなど、国際性をアピールして

り、太平洋戦争の時ほどには軍部による報道統制が厳しくなかった。このため、従軍記者による戦場からのルポルタージュや、突っ込んだ時事解説も、かなり自由に行うことができた。基本的には、日本軍の活躍を賞賛する記事が多いが、なかには意外とふざけた記事もあれば、ロシア側を賞賛する記事もある。

明治時代後期には、新聞は情報娯楽産業の王様であり、戦争は最大のイベントとして国民の関心の前に供された。i なにしらラジオもテレビもない時代である。戦時中の新聞・雑誌を渴望する民衆の熱気は、われわれの想像を遙かに超えるものだった。(中略)

だが新聞・雑誌が常に正確とは限らない。なかには、でっあげのスクープを載せたものもあったし、誤報が載ったこともあった。胡散臭い「笑談」やきわどい風刺記事ともなれば、もう日常茶飯事である。さらには「戦争」は、報道ばかりでなく、戦争小説や辞歌、芝居、はては双六にまで、当時のあらゆる大衆娯楽の場に浸透していった。そのような際物を含めて、民衆は「戦争」という事態と接していた。j 人々は戦争を恐れ、身内や友人の安否を気遣う一方、娯楽として享受してもいたのである。k さらに戦争という機会を利用して、国粹主義、国民主義、社会主義など、さまざまな立場の人々が大衆に自分たちの思想を訴えようとした。戦争は思想表現の機会でもあったのだ。

長山靖生「日露戦争 もうひとつの「物語」」(新潮新書)

- (1) 文中の下線部aについて、現在、アメリカのブッシュ政権は、国際協調主義を重視したクリントン前政権に対し、単独行動主義による新たな秩序構築を推進している。その政権の中核をなす勢力で、テロ支援国家に対して先制攻撃を主張する対外強硬派のことを何とよぶか、カタカナ4字で書きなさい。
- (2) 文中の下線部bについて、日露戦争の勝因の一つに日英同盟があげられる。ロシアの南下を警戒するイギリスが、極東の一小国にすぎなかった日本を評価し、軍事同盟を結ぶ契機となった事件が日清戦争後に起きている。その事件名は何か、書きなさい。
- (3) 文中の下線部cについて、日本が人種差別禁止の取り決めを初めて提案した会議は何か、書きなさい。
- (4) 文中の下線部dについて、金本位制の確立や日露戦争の外債募集で活躍し、1911年に日本銀行総裁に就任し、のちに首相にもなった人物はだれか、書きなさい。
- (5) 文中の下線部eについて、閣議決定と同時に特使としてアメリカに派遣され、ハーバード大学で同窓のセオドア・ローズベルト大統領らに接触してアメリカ世論の親日誘導にあたった人物はだれか、書きなさい。
- (6) 文中の下線部fについて、以下の問いに答えなさい。

- ① 賞禍論は、日清戦争の末期にドイツ皇帝ヴィルヘルム2世が「かつての蒙古のごとく、日本を先頭とする黄人の興起は欧州文明を破壊するであろう」と「賞禍の図」をロシア皇帝ニコライ2世に贈ったことから始まった。このときのドイツ皇帝の意図を簡潔に書きなさい。
- ② 日露戦争後、アメリカ国内では排日運動が強まったが、その具体例を1つ書きなさい。
- ③ アメリカで排日運動が強まった原因について、「ハリマン」「ポーツマス条約」の2つの語句を必ず用いて、句読点を含め80字以内で説明しなさい。
- (7) 文中の下線部gについて、当時、情報源校の中で、日露戦争における最大の貢献者といわれたのが明石元次郎である。彼がヨーロッパで行ったことは何か、40字以内で説明しなさい。
- (8) 文中の下線部hについて、日清戦争に従軍し、戦地で書いた軍事小説「戦旗」などを「少年世界」に発表したこともある、口演童話・児童文化の先駆者といわれる珠城可出身の人物を次のア～エから1つ選び、符号で書きなさい。
ア 久留島武彦 イ 堀井吉 ウ 福沢諭吉 エ 大井憲太郎
- (9) 文中の下線部iについて、ラジオ放送開始後からテレビ放送開始前の期間に起きた歴史的な事柄として間違っているものを、次のア～エから1つ選び、符号で書きなさい。
ア サンフランシスコ平和条約が発効した
イ 湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞した
ウ 金融恐慌が起きた
エ 亀戸事件が起きた
- (10) 文中の下線部jについて、「君死にたまふこと勿れ」の詩が発表された雑誌は何か、書きなさい。
- (11) 文中の下線部kについて、熊本出身の兄弟で、兄はのちに国権主義に転じ、弟はトルストイに心酔し大逆事件を批判した。兄の名と、弟の代表作品を1つ書きなさい。

<資料17> 一高校地歴・日本史(宮城)一

- 2 次の文は、明彦君が作成した日本史のレポートです。これを読んで、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。
- ・広くは、修成中だった仙台城石垣の工事が今年3月ようやく完了したことを新聞記事で知り、仙台城について興味を持ったので調べてみた。
- ・1700年に伊達政宗が築城を始めた仙台城本丸は、周囲を広瀬川や山姥などの天然の要害に囲まれた山城で、二代藩主米沢の時代に築かれた二の丸とともに仙台藩の中心地。仙台藩が支配した領域は仙台市南側に限定されていた大きな陸田で管理されたが、現在の宮城野よりずっと広いのであった。また、河川の堤防(御1)は河川が時に暴発して壊れていた。御1重要な意味をもつのがなと、ちょっと疑問に思った。
- さて、今回の修成工事の発に民間業者も呼われ、いろいろなことがわかった。ごくがまず興味をもったのは、当時の仙台と海外の国々との関わりだ。本丸の建物群からは、中国や朝鮮産の高級陶磁器だけでなく、ヨーロッパ製のガラスも見つかった。御1が表が実業家米沢ヨーロッパへ派遣した目的の一つは、このような品々を手に入れることだったと思う。
- また、今回の修成が完了した石垣は御1代藩主親村の時代の1693年に完成したもので、政宗が築いた当時のものではないということにも驚いた。その原因はしばしば仙台を襲った大地震で、そのたびに修理されたたり築き直されたりしたらしく、現在の石垣の下に2層の石垣がみつかった。しかしごくが興味をもったのは、江戸時代中期以降に多発した飢饉や、このようなしばしば発生した地震などの災害に際して、多くの美しい景観はどのように消滅したのかということだ。昨年、宮城県北部海岸や津波による米の不作にみまわれているので、他人様ではないように思う。仙台七夕祭りには、御1750年の大飢饉の際に御1「遊遊し」策として盛大に行なったものが始まりという説があるそうだが、今年でなければなく見えていた七夕の飾りも、今年はいままでとは違った見方ができるように思う。
- 御1明彦時代になると仙台城は新政府のものとなった。その後本丸に隣接する二の丸跡一帯は、陸軍第二師団の施設となったが、御1明治初期の1928年には、軍の一部隊の警備で空いた土地を利用して東北産業博覧会が開催されている。このころは不足気は足りていて、産業博覧会を開催するために盛大に開催されたというが、どんな博覧会だったか見てみたいものだ。
- ところで、大学側などわずかにこのった仙台城の発掘は、アジア太平洋戦争の進展によって全て失われてしまった。今回の修成が興った石垣だけありし日の仙台城を認めるものとなった。
- ① 下線部jのような山城から、近頃の城郭の主流は平城や平山城になりました。平城や平山城はどのような特徴を持つ城郭ですか、山城と比較して説明しなさい。
- ② 下線部jのような地形に対し、近頃における水害の重要性をこの地形から読みとらせたい。そのためにはどのような下ドバイスまたは対策をおこなうべきですか。
- ③ 下線部jの図からは、江戸時代に戦軍の代理わりごとに戦いの使節が送られていました。これを何と呼びますか。
- ④ 下線部jの使節のことを何と呼びますか。
- ⑤ 下線部jは、6年寺を築立して東照宮を築く目的でした。この東照宮を日本に伝えた使者は誰ですか。
- ⑥ 下線部jの領土は仙台藩のみならず東日本を中心に大きな被害を及ぼしました。江戸幕府がこの戦後の18世紀末に行なった改革で、農村の復興又は農村での復興対策として進めた政策を1つ書きなさい。
- ⑦ 下線部jの「遊遊し」ということばは、行き詰まった状態から救われたいという民衆の期待を寓することばとして用いられるようになり、幕末期から明治初期には「遊遊し」を期待する石垣一帯や打ちこわしが多発しました。この幕末期から明治初期に多発した「遊遊し」一帯の輪郭を、それ以前の一帯と比較して説明しなさい。
- ⑧ 下線部jについて、新政府は民間業者によって仙台藩のみならず国内の全てを直接統治下に置き直すが、それに先立って行われた城郭修成で、宮城野の地はどのようになりましたか。2つ書きなさい。
- ⑨ 下線部jについて、この前年の1927年に発生した地震は何と書きますか。



<資料18> —高校地歴・歴史（新潟）—

【a】 次の文を読んで、下の(1)～(6)の問いに答えなさい。

我が国が①第一次世界大戦に参加したことは、アジアでの我が国の勢力をさらに広げる好機となったと同時に、②様々な産業を飛躍的に発展させる契機となった。世界各地における戦争の惨禍は反軍国主義、反帝国主義の国際的潮流をうみ、③国際協調・軍縮縮小の気運を強めた。国内でも、大正デモクラシーとよばれた民主的風潮が起こり、④文化の大衆化が進むとともに⑤社会運動が活発化した。政治面でも普通選挙実施や⑥本格的政党内閣の成立といった民主的傾向を生みだし、協調外交が展開された。

(1) 下線部分①に関連する次の史料を読み、下のア～エの問いに答えよ。

一、今因政州ノ大振興へ、日本國運ノ発展ニ對スル(7)大正新時代ノ英雄ニシテ、日本國ハ直ニ華國一政ノ因縁ヲ以テ、此天祐ヲ享受セザルベカラズ。
(中略)

一、此戦場ト共ニ、(7)英・仏・露ノ因縁一政ハ更ニ強固ニナルト共ニ！日本ハ右三国ト一政因縁シテ、直ニ(7)英雄ニ對スル日本ノ利権ヲ確立セザルベカラズ。
(後略) 【『世外井上公伝』】

ア この史料は当時の首相と元老山県有朋にあてた密書である。当時の首相とは誰か、その人物の名前を書け。

イ 史料中の下線部分(7)という表現に示されている、日露戦争後の危殆的経済状況について説明せよ。

ウ 史料中の下線部分(7)の因縁が崩壊する原因を具体的に説明せよ。

エ 史料中の下線部分(7)を実現させるため、日本政府は二十一か条の要求を中国政府につぎつけた。中国東北部に關してどのような内容の要求をしたか、具体的に説明せよ。

(2) 下線部分②に関する下の表をみて、新潟県の産業発展の特徴について、この時期の全国の傾向を踏まえながら説明せよ。

【新潟県の部門別生産額の増加率・増加寄与率】

生産部門	大正4年 生産額 (百)	大正8年 生産額 (百)	大正4～8 年の増加額 (百)	大正4～8 年の増加率 (%)	大正4～8 年の平均 寄与率
農	44,854	175,005	130,151	2.95	48.4
畜	5,471	27,814	22,343	4.30	5.8
畜産	299	2,057	1,758	2.39	8.4
林	4,314	17,336	13,022	4.05	4.0
水産	2,780	8,488	5,708	2.08	2.8
工	21,740	122,321	100,581	3.65	28.0
建	25,324	85,389	60,065	3.28	18.6
計	115,946	436,715	320,769	3.73	100.0
農・畜・畜産	54,824	224,815	170,034	3.94	52.4
林・水産	7,094	25,824	18,730	2.64	48.4

【『新潟県史』通史編7】

(3) 下線部分③のため、大正10(1921)年に我が国も調印した四か国条約の内容とそのねらいを書け。

(4) 下線部分④の背景について説明せよ。

(5) 下線部分⑤に関連して、大戦直後による労働者数の増加と物価上昇とにより労働運動は高揚したが、鈴木文治によって組織された友愛会は第一次世界大戦期を通じてどのように実質したか、説明せよ。

(6) 下線部分⑥と呼ばれる政党内閣は明治期の政党内閣である隈板内閣とどのような点が異なるのか、簡潔に説明せよ。